



コンテ

2004.11.

ハタウェブ・ドット・コム www.hata-web.com

秋霜をもって自らを肅む

先日、タクシーに乗った時のことです。
 「 に行ってください。」と、私が運転手さんに伝えると、
 「はい、わかりました。」
 と元気に返事。私は安心をして目を閉じて乗車していました。
 「お客様、着きましたよ」
 という声に目を開け、周りを見ると、私が目的としていた場所と違うのです。

「運転手さん、ここは違いますよ」
 といって行き先を再度説明すると、またもや
 「はい！わかりました」
 私は、その言葉を聞くだけで、とても不安になり、さらに細かく指示をしてようやく目的地に着きました。
 「わかる」という言葉は「分かる」とも書きます。「分かる」とは、「理解しているところと、理解していないところを分けることができます」ということです。
 先ほどのタクシーの事例でいえば、
 「××までの経路はわかるのですが、そこから先の行き方がわかりません」というのが、「分かる（分け

られる）」ということなのでしょう。
 人間と動物の違いは、为什么呢。
 人間は、自分が不完全であることを知っています。過ちもするし、間違いもするのです。それに対して、動物は自分が不完全であることに気づいていません。つまり、自らの無知の自覚をすることが、人として生きるための必須要件といえると思います。
 春風をもって人に接し、秋霜をもって自らを肅む（つつむ）(佐藤一斎「言志四録」より)
 これは、「春風の暖かさをもって人に接し、秋霜の厳しさをもって自分のみを慎む」という意味です。自らに厳しく、学び続けたいものです。
 【降旗 達生】

戦略企業法務シリーズ 第2弾 「債権管理 実践編」

～これだけはやろう！ 中小企業における債権管理～

中小企業は、大企業がやっているような与信額を設定し、それ以上の受注は断るといふようなことはできないのが現実です。だからといって何もしないというのは、目隠しで地雷原を歩くようなものです。そこで今回は、中小企業でもできる債権管理の手法についてお話しします。

最初に、今お付き合いしている取引先の「存在」から確認しましょう。名刺一枚だけで相手を信用して取引していませんか？最低でも取引先の会社登記簿謄本は取得して、実在する会社であることを確認してください。

次に、取引先の「内容」を確認しましょう。会社登記簿謄本からは業務内容や代表者の住所氏名等が、民間調査機関の報告書からは財務状況や近況報告、さらに不動産登記簿謄本からは取引先と金融機関の取引状況がわかりま

す。但し、上記の情報は、過去のある一時点のもので定期的な情報更新してください。

債権管理では、上記の情報にリアルタイムな情報を加味することで、取引先の実像を浮かび上げさせます。「リアルタイムな情報」とは、日常業務で知る事実のことで「社長の体調が悪い」「社員が辞めた」「夏場なのにエアコンが入ってない」等直ちに倒産に結びつくものではないが、取引先の状況を表す重要な情報です。ここで大事なことは、リアルタイムな情報を社内で循環させ共有することです。この情報の循環が止まるということは、取引先の倒産の予兆を発見し且つ回避する機会を自ら失うことになるのです。社内におけるコミュニケーションが会社を救うのです。

(司法書士；青山 誠)

お客様の声

株式会社ミズノ 様

量から質へ、価格から価値へ

株式会社ミズノ
代表取締役 水野博旨様

今年の年頭に、「ミズノウェイ2004」の基本方針として、「量から質へ、価格から価値へ」と決めました。

キーワードとして、まず「変化」(過去に前例のない事にトライしよう!)、「進化」(新規開拓により新しい方向に目を向けよう!)、「特化」(他社との違いを鮮明にし、その中で社長も社員も共に育ち、人間力を高めて、個人及び会社のステージを上げていくことにより、売り上げUPをはかろう!)としました。

さらに、以上の変化・進化・特化の具体的なアクションとして、「第一に吹上でリフォームフェアに出展しよう!」「第二にISO14001を取得しよう!」とこの2つを今年のミズノウェイ、社運を賭けた大胆な目標にすると決めました。

ISO14001取得は会社の人的パワーの結集と結束の証です。その結果、いい意味で自社に対する自信と誇りが前より強く全員が持てるようになり、本当の意味でステージアップした事が一番のメリットなのではと考えます。これは自社の未来への先行投資でもあります。

システムをより良く活かして、環境にやさしい環境適合デザイン・環境適合施工を推進することが、会社の繁栄・社会貢献と考え、そのベースの上で維持・発展していこうと日々、着々とP D C Aに取り組んでいます。

来年、当社は創業55年で私は満48才になります。四方八方GOGO計画を打ち出してさらにステージUPして理念経営につとめていきます。

「なごや環境大学」が開校します



2005年春、愛知万博にあわせて開催される「なごや環境大学」は、「環境先進都市なごや」をめざし、行政と企業、市民が協力して環境問題 携わる人材を育成するユニークな取り組みです。

「大学」といっても堅苦しいものではなく、「まち中がキャンパス」を合言葉に毎日名古屋市内のどこかで市民講座が開催されます。講座には実行委員会が主催する主催講座と、市民やNPO、企業等が主催者となる共催講座があり、受講者には

各講座で修得した単位数が規定数に達すると修了証を授与されます。

また、環境問題をわかりやすく解説した「環境ハンドブック」の作成や、海外の有識者を招いた「国際シンポジウム」の開催などワクワクする企画が盛りだくさん。

共催講座において、今年7月に説明会を開催し8月から講座テーマの募集を開始したところ、予想を上回る応募があり実行委員会はおおわらわ!(かく

いうハタ コンサルタントも応募しましたが。。)

それは、環境問題は広範囲であるから、市民・企業・学校・行政などの立場を超えて学びあい、協働したいというニーズの表れではないでしょうか。

いよいよ11月27日(土)には、プレ・シンポジウムが開催されます。今後も「なごや環境大学」の取り組みに要注目!

*内容についてのお問合せは、ハタ コンサルタント(株)井戸までお気軽にどうぞ。